

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 にいがた・長寿命型住宅

グループの名称 にいがた・長寿命型住宅をつくる会

直近採択グループ番号 06-0526-0312

(グループ代表者)

代表者名	本間 正栄	代表者印
代表者所属先	株式会社本間材木店	
代表者所在地	新潟県見附市庄川町	
代表者電話番号	02-5862-3435	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社本間材木店	
事務局担当者名	桜井 伸也	印
事務局郵便番号	954-0016	
事務局所在地	新潟県見附市872番地	
事務局電話番号	02-5862-3435	
事務局FAX	02-5863-2333	
事務局担当者E-mail	h.zaimoku@at.wakwak.com	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸		
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
			高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸
							上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
						その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸
							上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	原則、事務局への受付順に申請を行う。								
	原案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	戸	戸	交付申請戸数	戸	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	戸	戸	交付申請戸数	戸	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
優良建築物型									
採択棟数	棟	棟	交付申請戸数	棟	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸		
採択床面積	m ²	m ²	交付申請床面積	m ²	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) にいがた・長寿命型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) にいがた・長寿命型住宅をつくる会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0526-0312	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	新潟県での長寿命型住宅(長期優良住宅)を風土、環境をよく理解した地元の構成員の手によって作り続ける事により『にいがた・長寿命住宅をつくる会』の作る住まいが安心・安全・快適な住まいとし地域に認知されて行く事を旨とする。 多雪地域で地震も多い地域であるため、地域型住宅の構造は許容応力度計算による耐震等級2以上とする。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地盤体力の弱い土地が比較的多い地域のため地盤調査を必ず行うと共に地盤報告書を基に適切な改良を行う。 この地域は夏暑くなるため、南から西側には窓の性能を高めて外からの断熱を考え遮熱性能のガラス仕様にする。 原則合法木材を使用する。地域材は主要構造材の50%以上使用する。国産地域材についても積極的に使用していく。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	多雪地域の住宅として耐積雪等級2 国産地域内装材の使用。 重力換気出来るプランを提案する。	○
④①～③の背景	新潟県全地域の7割弱が特別豪雪地域であり、夏は高温多湿の気候環境の厳しい地域でもあります。また活断層も多く地震の多い地域でもあります。 伐採時期の地域杉材は多くありグループのⅠ、Ⅱ構成員をはじめ原木からの供給、流通の体制が整っています。 このような背景から①～③の目標設定をしました。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループの設定した地域材使用、原則合法木材を使用して一定の品質を担保する。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が流通店を兼ねている利点を生かし、材木、建材の数量の把握と材量の確保を一貫して行う。 物件情報を事務局とVI構成員とで共有し合理化を図る。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 長寿命型住宅(長期優良住宅)のグループ内標準仕様書を作成。今年度も長期優良住宅の仕様を考えながら、低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の標準仕様の作成にも取り組んでいく。	○
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が流通店を兼ねている利点を生かし、材木、建材の数量の把握と材量の確保を一貫して行う。 物件情報を事務局とVI・構成員とで共有し合理化を図る。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: Ⅰ 原木供給からVIプレカット工場まで事務局の直系会社が主となる事で事務手続きの合理化を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: Vの構成員は直系会社1社にせず3社として合理化を考える委員会として検討実施して行く。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局がグループ内で設計図書、工程スケジュールを共有してⅠ～Ⅵへの生産計画と納品予定を立てる。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ長期優良住宅標準の施工マニュアルの作成 認定炭素住宅・性能向上計画認定住宅の施工マニュアル作成と研究会の定期開催	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 瑕疵保険加入での第三者機関の現場検査2回以上 事務局による施工検査の実施	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ長期優良住宅標準仕様書を基にした積算書の作成 認定炭素住宅・性能向上計画認定住宅にそったCADソフトによる見積の書式統一	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造見学会、完成見学会を開催する	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 4週8休が可能な工期設定を目指す	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 特にシニア層が働きやすい現場環境を目指す	○
③ 社会保険への加入	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 熱中症対策として、現場にイラスト配布や飲料水・塩飴などの配布を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) にいがた・長寿命型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県全域		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) にいがた・長寿命型住宅をつくる会	(結成年) 2015 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0526-0312			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄積情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計図、構造計算書、見積書、住宅機器品番等をデータ化し事務局にて管理する。	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: Web上のCPソフト『顧客プレミアム』の活用。	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 3ヶ月、1年、3年、5年、10年点検のDMを事務局にてお施主様、VI構成員に郵送。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 修理依頼・報告書を事務局が管理する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: VI構成員による診断結果、点検結果の履歴を事務局により管理する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 竣工引渡し時の取り扱い説明会	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 代表者所属会社の年に1回の『くらし快適フェア』でDIY相談・体験コーナーの設置	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカーショールームでのイベント開催	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内での5名選出で維持管理委員会を構成する。	○		
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: VI構成員が、お客様への自主的定期訪問を行い事務局が随時履歴を残す。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 廃業者OB履歴の構成員への振り分けと引継ぎ式の実施	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員で住宅瑕疵担保責任保険の加入と事例研究の実施	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅未経験の施工グループ構成員を対象に研究会の開催	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 気密測定値を事務局にて管理する	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて管理し実績報告書に添付する。	○	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロ・エネルギー住宅の施工を目標に技術向上を図る。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱等性能等級4の標準施工	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各業者の工程管理による断熱、気密施工	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 1	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 2	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習受講者への講習料の補助	○	
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 気密測定器の導入で住宅すべての気密測定。サーモカメラで室内外の温度差の測定をする。	○	
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 気密測定器ですべての住宅を気密測定、記録し合理的な高密住宅の施工を開発していく。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) にいがた・長寿命型住宅	(地域型住宅供給対象地域) 新潟県全域	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) にいがた・長寿命型住宅をつくる会	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0526-0312		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a			
①	地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	地域材原材料 ヒノキ 使用部位土台 地域材原材料 ベイマツ 使用部位柱・梁・桁 地域材原材料 杉 使用部位柱・梁・桁	◎
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明		
b			
①-1	地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木拾い管理をする事で在庫把握して情報を提供する。	◎
①-2	地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材流通店でのプレカット木拾い表と連動した見積で、価格情報を共有する。	◎
②	グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材の50%以上	◎
c			
①-1	畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 枚 補助金交付棟数 x 6枚	○
①-2	和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 坪	○
①-3	襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3x6換算) 枚	○
①-4	障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3x6換算) 枚	○
②-1	その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地元建具店と一緒に、越後杉ブランドを使った照明器具や家具の提案を行う。	○
②-2	その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 越後ブランド杉羽目板の積極的な使用	○
d			
①	地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②	地域の住まい方の継承に つながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③	地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④	和の住まいの要素を取 入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	この地域の三条市では地元生産の建築金物メーカーがあり、その製品を標準仕様として積極的に使って行く。	◎
カ. その他			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
	東日本大震災の復興に資する取組		
	平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> にいがた・長寿命型住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 新潟県全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> にいがた・長寿命型住宅をつくる会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0526-0312	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
地域住民の方や経験豊富な構成員から情報を聞き地域の気候に合った配置計画、住宅設計をする。 4地域・5地域ではUA値 0.6以下、1次消費エネルギーを15%以上削減を目標に施工する。 ゼロエネルギー住宅においては、UA値 0.6以下必須、再生可能エネルギーを除いて1次消費エネルギーを20%以上削減を目標に施工する。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。